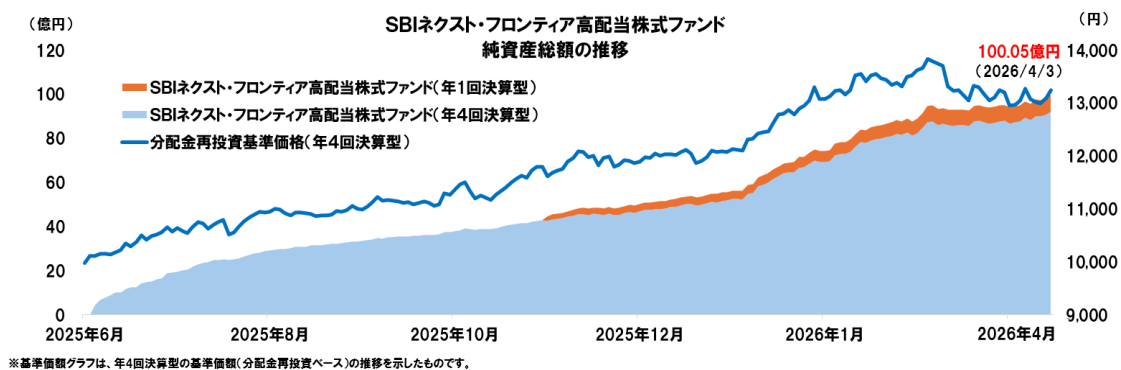


2026年4月3日

商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人資産運用業協会

再評価進む新興国市場の高配当株に低コストでアクセス
 『SBIネクスト・フロンティア高配当株式ファンド』年4回決算型および年1回決算型
 純資産総額合計 100億円突破のお知らせ

SBIアセットマネジメント株式会社が設定・運用する『SBIネクスト・フロンティア高配当株式ファンド(年4回決算型)』(以下「分配重視型」)および『SBIネクスト・フロンティア高配当株式ファンド(年1回決算型)』(以下「成長型」)の純資産総額の合計が、2026年4月3日に100億円を突破しましたのでお知らせいたします。



分配重視型は2025年6月24日に、成長型は2025年11月5日に設定・運用を開始いたしました。両ファンドは同一のマザーファンドを通じて、新興国および資源リッチなオセアニア諸国の高配当株式に分散投資し、インカムゲインの獲得と中長期的な値上がり益の両立を目指しております。信託報酬は年率0.099%(税込)と、新興国株式に投資するファンドとして国内最低水準*1であり、極めて高いコスト競争力を実現しています。

両ファンドは、アジア、南米、東欧、中東、アフリカなど幅広い地域に加え、資源国であるオセアニアにも投資対象を広げることで、特定の国・地域に過度に依存しない地域分散を重視し、成長性と分散効果の両立を図るポートフォリオ構築を行っている点が特長です。また、分配重視型と成長型の2タイプを揃えることで、安定的な分配を志向される投資家の皆さまと、収益の再投資による資産成長を重視される投資家の皆さまの双方のニーズにお応えしております。

足元では、米国市場への集中から投資対象の多様化を志向する動きが広がる中、為替動向や金融環境の変化を背景に新興国市場への再評価も進んでおります。あわせて、高配当銘柄への関心も高まりつつある市場動向の中、本ファンドの投資戦略と整合性を有する環境となり、支持の拡大につながっているものと考えております。実際に分配重視型のリターンは昨年末(2025年12月31日)比+11.31%*2と堅調に推移し、純資産残高も年初来で大きく増加しております。また、設定以降の基準価額の推移も好調で、9か月強で+32.26%*2のリターンを達成するなど、着実な成果を示しております。

当社グループは今後も、多様な商品ラインアップを低コストで提供することを通じて、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

*1: ウェルズアドバイザー株式会社調べ(2026年4月3日現在、インデックスファンド、DC・SMA・ETF含む)

*2: 2026年4月3日時点、分配金再投資基準価格ベース。過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

【本件に関するお問い合わせ先】**

SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170

(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号、加入協会:一般社団法人資産運用業協会)

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様様に帰属します。

また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の主な変動要因や留意点としては以下のものがありますが、以下に限定されるものではありません。詳しくは各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご確認ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

主な変動要因

- 株価変動リスク
- カントリーリスク
- 為替変動リスク
- 信用リスク
- 流動性リスク

その他の留意点

- ・ 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ 本ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 有価証券の貸付取引等を行う場合には、取引先リスク(取引の相手方(レンディング・エージェントを含みます。))の倒産等により契約が不履行になる等が生じる場合があります。
- ・ 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・ 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ・ 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・ 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・ 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ 実質的な投資対象地域の法令、税制、会計制度およびそれらの変更によって、本ファンドの受益者が不利益を被るリスクがあります。
- ・ 本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。当該運用方式には運用の効率性等の利点がありますが、投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じ、マザーファンドの組入れ有価証券に売買等が生じた場合等には、本ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 ありません

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 ありません

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬(2026年4月3日現在) : 0.099%(税込)

※成功報酬制はありません。

● その他の費用

ファンドの監査費用、有価証券等の売買委託手数料、保管費用等本ファンドの投資に関する費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用(法律顧問・税務顧問等への報酬を含む)、開示書類等の作成費用等(有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等)が信託財産から差引かれます。

*これらの費用は監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のおお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。